

アブダクション研究会の皆様

人間のシステム研究分科会の皆様

◆2010年・年末のご挨拶◆

皆様には年の瀬を何かとあわただしくお過ごしのことと存じます。

●日曜の朝の毎日系TVに、関口宏さん司会の番組がありますが、今朝は、いろいろと勉強をさせていただきました。

●江戸学の専門家が、最近、人が未来に見通しや希望や目標が持てず、先に自信がないのは、過去のことを勉強せず、知らないからだ、という趣意の意見を言いました。

●最近、数学史の入門書を通して、時代の歴史的な様相と数学の考え方に大きな連関があることをあらためて知りました。時代やその科学認識が必要な数学を要請し、社会と科学や数学の過去が未来の社会と科学や数学に影響を与えたのは自明のことだと思われます。

●世話人は、今、日々、N・ウィーナーがサイバネティックスに到る過程の取りまとめに追われています。ウィーナーは、自然の物理現象を時間的・空間的な数学に形式化し、工学的な操作に結びつけることに生涯の努力を注ぎました。現象の過去のデータから現象の未来を予測すると同時に未来に向けて現在の行動を制御することを考えたのでした。

●世話人は、03年から以後、『人間の営みのホメオスタシスモデル』の構成に着手していますが、人間の営みを一一過去を想起し、未来を想像し、予期して、今ここに対処する一一と仮定しています。過去の営みの経緯を蓄積し、過去の履歴から日常的に学びを繰り返すことは、人間の希望に満ちた未来のために、本質的に欠くべからざる条件だと考えています。

●アブダクション研究会は、1996年12月の設立以来、年々、隔月で、一時的ではない、後々までに、知見の残るような、世界と人間の本質に属するテーマを選んで、勇気をもって、粘り強く、活動を積み上げて進化を遂げてきています。皆様には、当該テーマ会合への出席の有無に拘りなく、常日頃から、研究会の過去の記録からの学びを大切にさせていただきますように、心からお願いを申し上げます。

以上、2010年の年末を迎えるに当たり、一言、所懐を申し上げて、皆様へのご挨拶といたします。

本年も、アブダクション研究会にとって、すばらしく意義のある一年になりました。

皆様に心から御礼を申し上げます。

皆様には、何卒、明るく元気で、よいお年をお迎えください。

10・12・26 アブダクション研究会 世話人 福永征夫

=====

アブダクション研究会の皆様

人間のシステム研究分科会の皆様

◆2011年・年頭のご挨拶◆

●皆様、新年明けましておめでとうございます。

添付のファイルで、世話人の年賀状をお届けいたします。

□新年を慶賀しご健勝をお祈りします□

80年代竿頭に環境問題・争いの激化など地球規模の難題の萌芽を意識。

人間の営みに部分/全体・深さ/広がり・引き合い/斥け合いなど、一見矛盾する相補性を実現する必然性
を感得。

84~96年の12年間、理論と方策を求めて学術諸領域を行脚し修養。

97年に、 $X \cdot Y \cdot X \wedge Y \cdot X \vee Y$ から成り自然の系に一般の『ラティスの構造モデル』の端緒を開く。

03年に4式から成る同モデルを完結。

以後は人間の情報処理に『ラティスの構造モデル』を適用して、人間の情報処理と環境制御を

事実<知>・価値<情>・目的<意>の3系の相互作用で表わす『人間の営みのホメオスタシスモデル』
の構成に着手して年々の発表を続けています。

平成23年 元旦

福 永 征 夫

◆アブダクション研究会◆（1996年設立）

世話人 [アブダクション研究会を検索しウィキペディア経由で手作りのホームページをご高覧下さい。]

●1996年に設立されたアブダクション研究会は、

地球規模の難題に真正面から対処するために、

知識の広域化と高次化を目指し、いつまでも、真摯に、勇気を持って、

粘り強く、積極的に、可能性を追求し、多様な探究を積み重ねて、

一步一步進化を続けてまいります。

●各界、各領域の方々の積極的なご参加を心から期待しています。

●本年もよろしくお願いを申し上げます。

2011・1・1

アブダクション研究会 世話人 福永 征夫

=====

アブダクション研究会の皆様

人間のシステム研究分科会の皆様

◆今後、ぜひとも発表をしてみたいテーマ

のご希望があれば、積極的にお申し出ください◆

●年末から年始にかけて、世話人は、アブダクション研究会および分科会が取り組むべき、先行きのテーマを構想して、可能性を見出すための、下ごしらえを進めています。

●以前からの懸案案件については、すでに具体的な調整に入っています。

●そこで、皆様には、今後、ぜひとも発表をしてみたいテーマのご希望があれば、世話人宛に、積極的にお申し出をいただきたく、お願いを申し上げます。

お申し出は、通年的にいつでも、お受け入れをいたします。

●世話人は、次の方向に沿うものなら、いかなる領域に属するいかなるテーマであっても、将来の可能性として、誠意を持って相談をさせていただき、実現に向けて調整を果たす所存であります。

=====

●1996年に設立されたアブダクション研究会は、

地球規模の難題に真正面から対処するために、

知識の広域化と高次化を目指し、いつまでも、真摯に、勇気を持って、

粘り強く、積極的に、可能性を追求し、多様な探究を積み重ねて、
一步一步進化を続けてまいります。



2011・1・3 アブダクション研究会

世話人 福永征夫